

# さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.1026  
2024.9.8

日本共産党さいたま市議会議員団

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

ご意見・ご要望はこちらにお寄せください



発行

松村 としお  
久保 みき  
金子 あきよ

とば めぐみ  
たけこし 連  
池田 めぐみ

## 9月議会がスタート

9月4日（水）から、9月議会がはじまりました。10月18日（金）までの45日間の会期です。9月9～11日は代表・一般質問がおこなわれ、党市議団から久保みき、池田めぐみの両市議が登壇します。質問日時が決まり次第、ホームページでお知らせします。またインターネット中継もありますので、ぜひご覧ください。



久保みき市議



池田めぐみ市議

### 放課後子ども居場所事業でスキマバイトアプリ?!

## 子どもの安心安全が守れるのか

さいたま市が今年度からモデル事業を開始した「放課後こども居場所事業」は、地域の子どもたちに対し、安心して過ごせる放課後の環境を提供することを目的としています。小学校施設（校内）を活用し、登録した児童が過ごす場として、今年度は4校、来年度はさらに9校拡大することが提案されています。

ところが市議団に対して、保護者から「放課後子ども居場所事業の職員が『タイミー』で募集されている」という声が寄せられました。「タイミー」は、「空いた時間を有効活用したい人や、すぐにお金を稼ぎたい人にピッタリなスキマバイトを紹介するアプリ」と説明され、履歴書不要・面接なしですぐに働くことができるとうたわれています。当然、資格の有無は問いません。

保育や教育の現場では、職員が子どもたちどのように接するかが極めて重要ですが、履歴書の提出や事前の面接が省略されることで、その人物の適性や人間性が十分に把握されないまま、放課後子ども居場所事業の現場にスポット配置されることとなります。1日（数時間）だけ働くことも可能なため、頻繁な職員の入れ替



申し入れをおこなう（左から2人目から）  
たけこし、池田、とばの各市議

わりや、毎日異なる職員が子どもたちと接する状況は、子どもたちにとってストレスとなり、健やかな成長を妨げるリスクが高まります。

こうしたことから党市議団は、7月29日に市に対して申し入れをおこないました。内容は、タイミーを利用した職員募集方法の見直し、実態調査、そして適切な職員研修の実施です。この申し入れに対し、市の担当課が十分に状況を把握していないことが明らかになり、今後、対策を検討することを約束しました。その結果、8月からタイミーを通じた職員の募集について、停止はしないものの、資格を持つ人材に限定した求人とするよう、放課後子ども居場所事業の委託業者に通知した、とのことでした。今後は事前研修も実施される予定ですが、モデル事業の時点でも人手不足が深刻なことがあらためて明らかになりました。

### 4件の請願の紹介議員に

次の4件の請願の紹介議員になりました。常任委員会に諮られ、本会議で議決されます。党市議団は採択のためにちからを尽くします。

- 18歳未満（高卒まで）の国保・均等割の減免措置を求める請願（さいたま市社保協）
- ガザに直ちに平和を、一刻も早い停戦を求める請願（さいたま南・大宮平和委員会）
- 核兵器禁止条約第3回締約国会議への日本政府のオブザーバー参加を求める意見書の提出を求める請願（さいたま南・大宮平和委員会）
- 米兵の性暴力の多発と、隠してきた日本政府に抗議し、日米地位協定の改定を求める請願（さいたま市原水協）

### 5件の意見書案を提出

以下の5件について議会運営委員会に提出しました。全会派一致となれば国及び埼玉県に送致されます。

- コロナ治療薬とワクチンの負担軽減、医療体制の強化を求める意見書（案）
- 高等教育の負担軽減を求める意見書（案）
- 訪問介護報酬引き下げを見直し再改定を行うことを求める意見書（案）
- 高等学校等就学支援金の所得制限撤廃を求める意見書（案）
- 埼玉県水道料金の引き上げ撤回を求める意見書（案）

# 無謀な計画 止めるため 学び知恵を出し合う

## ストップ!義務教育学校「武蔵浦和学園」市民フォーラム開く

8月24日「武蔵浦和学園義務教育学校を考える連絡会」などがつくる実行委員会が主催し



て、義務教育学校の問題点について学び交流することを目的に「市民フォーラム」が埼玉会館で開かれました。

和光大学教授の山本由美さんは、さいたま市が本来必要なはずの地域の合意形成を「新設統合だから必要ない」として計画を推進していることを批判、また計画されているユニット制や4年生までの校舎と5-9年生の校舎が分けられることについて、教育的効果についての検証が不十分だと指摘しました。

つくば市議会議員の山中まゆみさんは、つくば市の大規模義務教育学校の深刻な実態を語

り、そのなかで不登校児童生徒数が急増している、と告発しました。

フロアから学校の先生や保護者などが、当該の学校でも、教員や保護者、子どもたちに十分な情報が知らされていない、当事者の声を中心に運動を進めたい、と発言しました。

参加した金子あきよ市議は、6月議会での一般質問で、現時点での義務教育学校開校時の

想定人数が、当初の予定から600人も少ない3082人だと明らかにしたことについて発言。「今後の議会でもさらに義務教育学校の問題点を明らかにしていきたい」と表明しました。



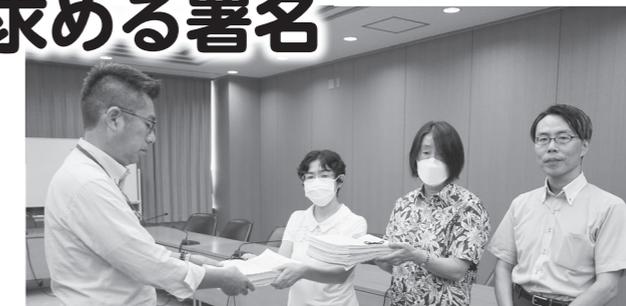
発言する金子市議

## 原山市民プール存続求める署名 1万2000人超える

「原山市民プールの存続を求める会」はプールの存続を求める署名を追加提出し、累計で1万2341筆となりました。署名提出には松村としお市議が立ちあいました。

同会が署名を集めるなかで「プール廃止方針を知らない」「なぜ廃止するのか聞かれた」と廃止方針が市民に伝わっていないことや、「沼影市民プールがなくなったから原山に来た」「原山もなくなったら行くところなくなる」という声が寄せられたとの発言がありました。また「清水市長は直接声を聞いてほしい」との要望が強く出されました。

4月に同会が提出した質問状に対する都市局



の回答もありました。おもにプールを利用している子どもの意見を「こどもパブリックコメント」で聞くよう求めたのに対し、「こどもの意見を取り入れるうえで、有効な手法の一つ」として今後研究していく旨を回答しました。また利用料金値上げで「社会的弱者を排除する公共施設では公共の理念を崩壊させてしまう」との指摘に対し「利用料金については民間事業者と協議し、施設の魅力度を勘案しながら検討」と値上げ前提の回答がされました。

## くらしを支える制度改善を国に要望

8月23日、党市議団は党埼玉県議団とともに2025年度政府予算編成に対する要望を提出し、各省庁と懇談しました。党市議団から松村としお市議が参加し、塩川鉄也衆院議員、伊藤岳参院議員が同席しました。約200項目の要望は物価高騰のもとで厳しさを増す県民の暮らしを支え、安心して生活できるよう地方自治体はもちろん、国の制度見直しや予算措置を求めるものです。

猛暑が続くもとで生活保護世帯で「壊れたエアコンの修理ができない」「電気代節約のためクーラーはがまんしている」という状況があります。夏季加算やエアコン購入・

修理費用を支給するよう要望しましたが、厚労省担当職員は「家計調査では一般家庭で夏季に支出増えていない」と生活保護世帯の実態を見ることもなく問題ないという認識を示しました。

公務員の非正規雇用である会計年度任用職員については改善を求めるなかで「公募によらない再採用の上限回数を2回までとするよう努める」規定が削除されたことは前進です。松村市議はさいたま市の実態も示しながら自治体への周知徹底を求め、総務省担当職員が「今後説明会をおこなう」と回答しました。

### あなたの身近な市議会議員です



緑区 松村としお



桜区 久保みき



南区 金子あきよ



見沼区 とばめぐみ



中央区 たけこし連



浦和区 池田めぐみ